

3)オリジナルメニューの開発・提供 利用者の満足度向上を図るため、地域特産品を活用したオリジナルメニューや水族館の展示内容をイメージしたメニューを開発し提供する。	○	・地元本部町のブランド豚肉「本部町産あぐ〜」を使用した「あぐ〜カツカレー」、本部町産シークワサーを使用した「美ら島シークワサーソフトクリーム」、本部町観光協会が推薦し100年フードに認定された「ラフデー丼」、やんばるの地で育てたカープチー、アセローラを使用したアイスクリーム「やんばるダブルシャワー」を販売した。 ・水族館の展示内容をイメージしたメニューとして、ジンベエザメ、マンタなどをカップの表面にデザインした「ラテアートコーヒー」やジンベエザメ、マンタなどをイラストした「ちゅらティー」等を提供した。	・月報、ヒアリング、現地等で確認した。	・業務計画書のとおり適切に実施されている。	・良好に実施できている。 ・令和5年度からバイヤーチームを設け、新商品の開発を強化している。
4)安全衛生管理の徹底 ①安全衛生管理計画に基づき、法定点検及び自主点検を実施する。 ②飲食施設には、食品衛生責任者を配置し、HACCP(ハサップ)の考えに基づいた衛生管理及び安全管理を徹底するとともに食品衛生教育を年1回以上実施する。 ③食品衛生管理マニュアル、異物混入防止対応マニュアル、食物アレルギー対応マニュアル、食中毒対応マニュアル等に基づき、安全衛生管理に努める。 ④各施設の衛生管理全般について、衛生管理の専門機関による定期的な衛生点検を実施し、指導・助言を受ける。 ⑤各施設の営業許可の取得・更新や届出を適切に実施する。	○	①安全衛生管理計画に基づき、法定点検の実施と自主点検として、冷蔵・冷凍庫の温度管理、賞味期限等管理、衛生点検、身だしなみチェックなどを実施した。 ②飲食施設には、食品衛生責任者を配置し、HACCP(ハサップ)の考えに基づいた衛生管理及び安全管理を実施した。 ・5月に全料飲店舗スタッフを対象に食品衛生管理マニュアル、異物混入防止対応マニュアル、食物アレルギー対応マニュアル、食中毒対応マニュアル等を各自読み込んでもらい、衛生管理に関する理解度を確認(本人捺印)する方法で教育を実施した。 ・9/25にカフェオーシャンブルーで提供したメニューにより、お客様がアレルギー症状を発症する事故が発生した。再発防止のため、11/16、17に全料飲店舗スタッフを対象に衛生管理専門業者による食物アレルギーに関する教育を実施した。 ・沖縄県、北部保健所、中部保健所、日本公園緑地協会による食品衛生検査(11/10実施)に先立ち、検査に必要な書類(施設情報、営業許可証など)を準備した。検査受検後、各保健所から交付された食品衛生監視票(評価・採点)は、沖縄県に報告するとともに指摘事項について改善に取り組んだ。 ③食品衛生管理マニュアル、異物混入防止対応マニュアル、食物アレルギー対応マニュアル、食中毒対応マニュアル等に基づき、安全衛生管理に努めた。 ④衛生管理の専門機関と衛生点検及び教育等に係る契約を締結し、各施設における定期的な衛生点検等を実施、指導・助言を受けた。 ⑤キッチンカー(白)(委託先:沖縄美ら島フードサービスの営業許可(令和5年4月14日付)の取得が適切に実施されていることを確認した。	・月報、ヒアリング、現地等で確認した。	・業務計画書のとおり適切に実施されている。	・アレルギー事故の発生要因は、商品欠品時の対応フローが作成されておらず、現場スタッフのみで対応を決定したことが考えられるため、欠品時の対応や現場スタッフと事務所職員の連絡体制を整理した。今後同様の事案を発生させないためにも、指定管理者において以下の再発防止策を整理し、スタッフ等に周知徹底する。 ①食物アレルギーに関する教育の充実、②対応手順書の作成、③報告・連絡・相談の徹底、④店舗スタッフの適正な人員配置、⑤情報共有の迅速化 ・アレルギー事故を受け、令和6年度から衛生管理専門業者による食品衛生教育を年3回実施することとした。 ・県は指定管理者による再発防止策の取組状況を適宜確認する。

5)利用者満足度の向上への取組み ①調理師等の豊富な商品知識を有する資格者を配置し、利用者へ満足度の高いサービスを提供する。 ②多客時には、スタッフの増員等適切に人員を配置し、円滑にサービスを提供できる体制とする。	○	①調理師、販売士、サービス接遇実務検定、サービス介助士などの有資格者を配置し、利用者へ満足度の高いサービスを提供した。 ②多客時には、店舗運営の応援として事務所から人員を配置し、円滑にサービスが提供できるよう対応した。	・月報、ヒアリング、現地等で確認した。	・業務計画書のとおり適切に実施されている。	・良好に実施できている。
---	---	--	---------------------	-----------------------	--------------

2) 物販施設等

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
物販施設						
ジンベエザメ・マンタ・イルカ等の展示生物に因んだオリジナル商品、本施設の展示生物や研究成果を活かしたミュージアムグッズを開発し販売する。販売にあたっては店舗の特色にあわせて商品を展開する。	○		・ジンベエザメ・マンタ・イルカ等の展示生物に因んだオリジナル商品(ヌイグルミ、玩具など)や展示生物の細かな特徴を表現したミュージアムグッズを開発し販売した。オキちゃんショップでは、オキちゃん劇場、マナティー館、ウミガメ館に近い特色に合わせ、イルカ、マナティー、ウミガメに因んだ商品を重点に展開した。	・月報、ヒアリング、現地等で確認した。	・業務計画書のとおり適切に実施されている。	・良好に実施できている。 ・SDGs等にも配慮した良質なものを新たに投入することで客単価の向上を図っている。
1)営業日・営業時間 ・ショップブルーマンタ 通常期:8:30～18:30 繁忙期:8:30～20:00 水族館の営業時間に連動して設定。 ・オキちゃんショップ 通常期:9:30～17:30 繁忙期:9:30～18:30 水族館の営業時間に連動して設定。 ※原則、本施設の営業日・営業時間に連動して設定する。ただし、利用者の状況に応じて、県と調整し必要な手続きを行う。	○		水族館の営業時間に連動し、下記のとおり、営業を実施した。 ・ショップブルーマンタ 通常期(4/1～4/28、5/8～7/14、9/1～3/31):8:30～18:30 繁忙期(4/29～5/7、7/15～7/31):8:30～20:00 ナイトアクアリウム期間(8/1～8/31):8:30～21:00 ・オキちゃんショップ 通常期(4/1～4/28、5/8～7/14、9/1～3/31):9:30～17:30 繁忙期(4/29～5/7、7/15～7/31):9:30～17:30 ナイトアクアリウム期間(8/1～8/31):9:30～17:30 ※オキちゃんショップの営業時間は、海獣施設及びウミガメ施設の営業時間とあわせて変更しなかった。	・月報、ヒアリング、現地等で確認した。	・業務計画書のとおり適切に実施されている。	・良好に実施できている。
2)運営内容 ①ショップブルーマンタ ミュージアムショップとして研究成果に基づくアカデミック・ミュージアム商品のほか、地域特産品や県産素材を活用した観光土産品、生活・日用雑貨品等を販売した。 ②オキちゃんショップ 海獣施設のイルカ、マナティー、ウミガメ等の展示生物に因んだグッズを中心に販売する。また、イルカ給餌体験のチケットを販売する。 ※ウミガメ給餌体験のチケットはウミガメ館において販売する。	○		①ショップブルーマンタ ・ミュージアムショップとして研究成果に基づくアカデミック・ミュージアム商品のほか、地域特産品や県産素材を活用した観光土産品、生活・日用雑貨品等を販売した。 ②オキちゃんショップ ・海獣施設のイルカ、マナティー、ウミガメ等の展示生物に因んだグッズを中心に販売した。また、イルカ給餌体験のチケットを販売した。(9/20よりWeb販売を開始。) ※ウミガメ給餌体験のチケットはウミガメ館において販売した。	・月報、ヒアリング、現地等で確認した。	・業務計画書のとおり適切に実施されている。	・良好に実施できている。

3)オリジナル商品の開発・販売 当財団の総合研究所や地元企業、地域団体と連携し、展示生物に因んだオリジナル商品や生物図鑑等の書籍、展示生物を忠実に再現した模型等、学習要素の高いグッズを開発し販売する。	○	・新たに地元企業と連携し、本部町産ゴールドバレル(ハイン)を使用したお菓子「もとぶかりゆしゴールドドラングドシャ」(11月販売開始)、テリハボクの種子油「タマヌオイル」を使用したハンドバーム「Kafu-mi」(10月販売開始)を開発、販売した。 ・新たにサメの最新調査研究を基に総合研究所研究員が執筆した生物図鑑「サメすご図鑑」(11月販売開始。)を販売した。	・月報、ヒアリング、現地等で確認した。	・業務計画書のとおり適切に実施されている。	・良好に実施できている。
4)安全衛生管理の徹底 ①安全衛生管理計画に基づき、法定点検及び自主点検を実施する。 ②取り扱う食品類は、JAS法に基づく品質表示基準等の確認を行う。 ③物販店舗における商品の衛生管理マニュアルに基づき、安全衛生管理に努める。	○	①安全衛生管理計画に基づき、法定点検の実施と自主点検として、賞味期限等管理、身だしなみチェックなどを実施した。 ②取り扱う食品類は、JAS法に基づく品質表示基準等の確認を行った。 ③物販店舗における商品の衛生管理マニュアルに基づき、安全衛生管理に努めた。	・月報、ヒアリング、現地等で確認した。	・業務計画書のとおり適切に実施されている。	・良好に実施できている。
5)利用者満足度の向上への取組み ①販売士等の豊富な商品知識を有する資格者を配置し、利用者へ満足度の高いサービスを提供する。 ②多客時には、スタッフの増員等適切に人員を配置し、円滑にサービスを提供できる体制とする。	○	①販売士、サービス接遇実務検定、サービス介助士などの有資格者を配置し、利用者へ満足度の高いサービスを提供した。 ②多客時には、店舗運営の応援として事務所から人員を配置し、円滑にサービスが提供できるよう対応した。	・月報、ヒアリング、現地等で確認した。	・業務計画書のとおり適切に実施されている。	・良好に実施できている。

3) 自動販売機及びコインロッカー等

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
自動販売機及びコインロッカー						
自動販売機及びコインロッカーは施設利用者の利便性と公園内の景観に考慮し、適切な場所を選定し、利用実態にあわせた台数を設置する。自動販売機は、品質・衛生管理を徹底するとともに、オリジナル性・話題性のある商品(ちゅうみサイダー、焼き芋等)や機材を選定し、利用者のニーズに合わせた商品を適時入れ替えながら販売する。また、大規模災害時に飲料の無償提供が可能な災害ベンダー機能搭載自動販売機を設置する。	○	○	・自動販売機及びコインロッカーは施設利用者の利便性と公園内の景観に考慮し、自動販売機40台(内訳:立体駐車場12台、水族館11台、美ら海プラザ8台、オキちゃんショップ横5台、オキちゃん劇場トイレ横4台)、コインロッカー24口(水族館入口)を設置した。 ・今後のコインロッカーの更新に向け、各種コインロッカー製品の調査を行い、キャッシュレス対応、特大サイズの有無、導入コストなど情報収集しながら検討を行った。 ※令和6年度に更新予定。 ・オリジナル性、話題性のある自動販売機として、ちゅうみサイダー専用2台(内訳:美ら海プラザ1台、水族館1台)、焼き芋専用1台(美ら海プラザ)を設置した。 ・大規模災害時に飲料の無償提供が可能な災害ベンダー機能搭載自動販売機を26台(内訳:立体駐車場10台、水族館8台、美ら海プラザ5台、オキちゃんショップ横2台、オキちゃん劇場トイレ横1台)設置した。	・月報、日報、販売記録、ヒアリング等により状況を確認した。	・業務計画書のとおり適切に実施されている。	・良好に実施できている。
1)運営内容 ①自動販売機またはコインロッカーの不具合について、利用者から申し出があった場合には、料金の返金を含め迅速な対応を行う。 2)安全衛生管理の徹底 ①自動販売機及びコインロッカーを設置する際には、水平となるよう設置し、アンカー等による転倒防止策を講じる。 ②自動販売機運営マニュアルに基づき、安全衛生管理に努める。			1)①自動販売機またはコインロッカーの不具合について、利用者から申し出があった場合は、料金の返金を含め迅速な対応を行った。 2)①自動販売機及びコインロッカーは、水平となるよう設置し、アンカー等による転倒防止策を講じた。 ②自動販売機運営マニュアルに基づき、安全衛生管理に努めた。			

4)記念写真の撮影販売

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
記念写真の撮影販売						
美ら海プラザでは展示生物をモチーフとした模型セットで記念写真撮影を行う。また、オキちゃん劇場周辺では、イルカ等の生物の健康管理に配慮しながら、展示生物(イルカ等)との記念写真撮影を行う。	○	○	・美ら海プラザでは展示生物をモチーフとした模型セットで記念写真撮影を行った。また、オキちゃん劇場周辺では、イルカ等の生物の健康管理に配慮しながら、展示生物(イルカ等)との記念写真撮影を行った。なお、オキちゃん劇場周辺のフォトサービスは、オキちゃん劇場の施設修繕工事のため、9/1からサービスを休止した。	・月報、日報(売上日計綴り)、ヒアリング等により確認した。 ・現地にて状況を目視確認した。	・業務計画書のとおり適切に実施されている。	・良好に実施できている。
1)運営内容 ①記念写真は、オリジナル台紙付の写真と合わせて画像データ等を販売する。 2)安全衛生管理の徹底 ①多客時等、撮影場所の混雑状況に応じて業務を停止し、混雑緩和のため利用者の整理誘導を行う。			1)記念写真は、オリジナル台紙付又はキーホルダーと合わせて商品化し、画像データ等を含め販売した。 2)多客時には、スタッフの増員等適切に人員配置し、混雑緩和のため利用者の整理誘導を行った。			

5)オンラインショップ(ECサイト)の運営

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
オンラインショップ(ECサイト)の運営						
沖縄美ら海水族館公式オンラインショップ(ECサイト)を運営し、国内外の水族館ファンに対して水族館オリジナル商品の購入機会を提供する。	○		・沖縄美ら海水族館公式オンラインショップ(ECサイト)を運営し、国内外の水族館ファンに対して水族館オリジナル商品の購入機会を提供した。	・月報、ヒアリング等により確認した。 ・現地にて状況を目視確認した。	・業務計画書のとおり適切に実施されている。	・良好に実施できている。
1)運営内容 ①沖縄美ら海水族館公式オンラインショップ(ECサイト)において、水族館オリジナル商品を中心に販売を行う。 ②イルカやマナティー等の体験プログラムのチケットを販売する。ただし、体験プログラムが中止となった場合は返金対応を行う。 2)安全衛生管理の徹底 ①取り扱い食品類は、JAS法に基づく品質表示基準等の確認を行う。 ②物販店舗における商品の衛生管理マニュアルに基づき、安全衛生管理に努める。			1)①沖縄美ら海水族館公式オンラインショップ(ECサイト)において、水族館オリジナル商品(ぬいぐるみ、衣類、ちゅうらうみサイダー等)を中心に販売を行った。 ②海獣課と連携しながらイルカ、マナティーの体験プログラムチケットを販売した。体験プログラムが中止となった場合は返金対応を行った。 2)①取り扱う食品類は、JAS法に基づく品質表示基準等の確認を行った。 ②物販店舗における商品の衛生管理マニュアルに基づき、安全衛生管理に努めた。			

6)環境への配慮、SDGsに関する取組み

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
環境への配慮、SDGsに関する取組み						
天然素材の商品袋・容器・ストロー等、脱プラスチック製品への切り替えを推進するほか、地域食材を活用した商品開発による地産地消、食材や提供する料理の個食セット化による食品廃棄ロスの減、食品残渣の堆肥化による再利用を推進する。	○		・物販施設では天然素材(紙製)の商品袋を導入済み。 ※雨天時に使用しているプラスチック製商品袋は、令和6年4月下旬をめどに撥水加工済み商品袋(紙製)に切替え予定。 ・飲食施設では、全ての容器、ストローについて、紙製又は生分解性製品に切替えを完了した。 ・本部町産食材(野菜等)をレストランイノアのランチビュッフェに取り入れるなど、地産地消を推進した。 ・飲食施設では、食材や料理の個食セット化又はレトルト化を推進し、食品廃棄ロスの減と調理業務の効率化に取組んだ。 ・飲食施設から排出される使用済み食用油は、廃棄せず、廃食用油リサイクル業者に回収してもらい再利用を推進した。 ・食品残渣の堆肥化による再利用は、各種堆肥化機器の調査を行い、処理能力、分解方式、導入コストなど情報収集しながら検討を行った。	・ヒアリングにより確認した。 ・現地にて状況を目視確認した。	・業務計画書のとおり適切に実施されている。	・良好に実施できている。

(9)広報・誘客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
広報宣伝活動・利用促進						
1)本施設の魅力度アップ ①世界初、日本初となる魅力度の高い生物の展示や話題性のある展示 世界初、日本初となる魅力度の高い新規生物の展示や、利用者のニーズに合わせた展示を実施する。	○		・114種の日本唯一の展示や44種の世界唯一の展示を実施した。また、新種として報告されて間もないリュウグウノゴテンや、世界で初めて繁殖したイバラエイ仔魚などはニュースリリースやSNSで話題提供を行った。	・月報、ヒアリングにより確認した。 ・HP,SNS(Facebook、YouTube)で生き物の様子を配信したことを確認した。 ・アプリの運用状況を確認した。	・業務計画書のとおり適切に実施されている。	・良好に実施できている。
②参加体験プログラムの充実 国際基準(WAZA)のふれあいガイドラインに基づいたイルカやウミガメと触れ合える体験プログラムや、専門教育を受けた解説員によるバックヤードガイドツアー、公園をフィールドにした環境学習プログラム等のプログラムの充実を図る。			・一般向けバックヤードツアー「裏側まるごとウォッチング」や、教育機関向けの「バックヤード見学」を実施した。 【沖縄美ら海水族館☆ナイトガイドツアー】56名 【美ら海こども飼育体験(有料)】総参加者:14名 【裏側まるごとウォッチング(バックヤードツアー・有料)】参加者:4,275名 【イルカ体験学習】208件 【ウミガメ飼育体験】20件 【マナティー体験学習】124件			
③教育・環境保全活動に対する優遇措置の実施 県内での一定の環境保全活動に対し入場券(エコクーポン)を提供し、取り組みについてホームページ等で周知し、水族館の利用促進と環境保全に寄与する。			・海岸清掃などを行い、申請のあった17団体へ計859枚のエコクーポンを交付した。(内1団体は天候不良を理由に中止・クーポン返却済み)			
④オンラインによる質の高い教育の提供 質の高い教育コンテンツを国内外に提供し、すべての人が学びながら楽しめる「沖縄美ら海水族館」を目指す。特に、本施設への来場が困難な全国の医療施設の子どもたちにオンラインプログラムやICTを使った「より質の高い学びの場」を提供し、生物や科学への興味関心を高める。また、参加者個人が自宅で楽しめるオンラインイベントを実施する。更に、美ら海アプリ「かざすAI図鑑」でスマートフォンのカメラをかざすことで展示生物の名前や特徴が表示できるサービスを継続して提供する。			・質の高い教育コンテンツを提供するためにオンライン体験サイト「aini」を利用し、オンラインイベントを3回実施した。 ・医療施設の子どもたちに遠隔授業(74件)を実施し、「より質の高い学びの場」を提供した。うち3件はカンボジアの小児病院と実施した。 ・美ら海アプリ「かざすAI図鑑」で展示生物の情報を継続して提供した。			

2)広報宣伝活動 ①広報宣伝活動 新聞やラジオ等のメディア広報のほか、HP、SNSを活用し、リアルタイムに本施設の魅力を発信する。行催事や展示、生物の情報等を、マスコミや観光関連機関あてニュースリリースとして積極的に情報発信を行う。		○	・水族館HPやSNS(Facebook・Instagram)で生き物の紹介など行った。また、スマートフォンアプリ「美ら海アプリ」のお知らせ機能(プッシュ通知)を活用しアプリケーション利用者に向け、直接的な告知を行った。 ・「美ら海アプリ」を使用した【第5回美ら海フォトコンテスト】を開催し、開催中に美ら海アプリのインストール数を6,220人増やすことに成功した。 ・「美ら海アプリ」を使用した『デジタルスタンプラリー』を3回(夏休み・冬休み・春休み)に開催し、期間中に美ら海アプリのインストール数を3,817人増やすことに成功した。 ・Facebookで246回、Instagramで567回投稿を行い、リアルタイムに本施設の魅力を発信した。 【HPアクセス数】14,174,711件 【美ら海アプリインストール数】55,989人増加 計181,266人 【YouTubeチャンネル登録数】693人増加 計15,390人 【視聴回数】478,355回 計1,785,714回 ・ニュースリリースとして行催事や展示・生物の情報を、マスコミ等を通じて本施設の魅力を下記件数発信した。 【NR配信件数】32件 【NR取材件数】36件 【報道件数】89件	・月報、ヒアリングにより確認した。 ・HP,SNS(Facebook、YouTube)で生き物の様子を配信したことを確認した。 ・アプリの運用状況を確認した。	・業務計画書のとおり適切に実施されている。	・良好に実施できている。
②地元密着型広報宣伝活動 HPやSNSの利用頻度が低い層にも本施設の情報を伝えるため、県内の公民館、老人会、婦人会、学童保育等の団体を直接訪問し、行催事や展示内容等について情報提供し県民利用を促進する。			・公民館や自治会等へ直接訪問し、水族館及び園内の行催事等情報を提供した。 【件数】1,835件			
③展示生物をモチーフにした大型造形花壇等の飾花演出 ジンベエザメやマンタ、クマノミ等水族館で人気の展示生物をモチーフにした大型造形花壇を海洋博公園内や周辺沿道に設置し、フォトスポットの創出や本施設のPRを実施する。			・フォトスポットの創出や本施設のPRのために、本部町浦崎交差点及び本部町伊豆味区喜仙川線にジンベエ、クマノミの大型造形花壇を設置した。			

3)来場者の利便性向上 ①美ら海アプリを活用した情報発信 独自で開発したスマートフォンアプリ「美ら海アプリ」において館内の混雑状況、台風等による臨時閉館情報や営業時間等のリアルタイム情報を多言語で発信する。また、スマートフォンを水槽の生き物にかざして名前を表示する等インタラクティブに水族館を楽しめるサービスを提供する。	○		「美ら海アプリ」のプッシュ通知機能を38回利用し、台風等による臨時休館情報等をリアルタイムで発信した。また「美ら海アプリ」内の【かざすAI図鑑】は最新のOSまでサポートされており、インタラクティブなサービスの提供を継続出来た。	・月報、ヒアリングにより確認した。 ・HP,SNS(Facebook、YouTube)で生き物の様子を配信したことを確認した。 ・アプリの運用状況を確認した。	・業務計画書のとおり適切に実施されている。	・良好に実施できている。
②周辺道路や交通弱者への情報発信 周辺道路の混雑状況にあわせた情報の提供や、車での移動が困難な来場者に対し、公共交通機関(高速バス等)の情報を提供し、県内幹線道路における渋滞緩和や環境負荷軽減に寄与する。			・施設までのバス交通の充実に合わせ、随時情報発信(やんばる旅ナビ・施設HP等)した。			
4)混雑緩和・施設利用平準化 ①営業時間の検討 これまでの管理運営で得られたデータに基づき、利用実態に即した営業時間の検討を行う。			・県へ営業時間の変更申請を行い、繁忙期(4～9月、3月)を、通常期(4/1～4/28、5/8～7/14、9/1～3/31)、繁忙期営業(4/29～5/7、7/15～7/31)、ナイトアクアリウム期間(8/1～8/31)の営業とした。 ・GWの繁忙期のうち、5/3～5/5は水族館滞留者の分散化及び安全確保を図るため、開場時間を8時10分とした。 ・7/15は「海洋博公園サマーフェスティバル2023」開催に伴い営業時間の変更申請を行い、23時まで営業時間を延長した。	・月報、ヒアリングにより確認した。 ・HP,SNS(Facebook、YouTube)で生き物の様子を配信したことを確認した。 ・アプリの運用状況を確認した。	・業務計画書のとおり適切に実施されている。	・良好に実施できている。
②利用分散化による混雑緩和及び県民利用の促進 本施設は10時から15時にかけて利用が集中していることから、利用を分散し館内を快適に楽しんでもいただくため、人気の高いイルカショーや給餌解説を午前中にも実施するほか、参加体験プログラムを充実させ、利用者を館外施設に分散化することで館内の混雑を緩和する。	○		・人気の高いイルカショーや給餌解説を午前中にも実施した。 ・参加体験プログラムを充実させ、利用者を館外施設に分散化した。	・月報、ヒアリングにより確認した。 ・HP,SNS(Facebook、YouTube)で生き物の様子を配信したことを確認した。 ・アプリの運用状況を確認した。	・業務計画書のとおり適切に実施されている。	・良好に実施できている。

③チケットのスマート化による混雑緩和 コンビニエンスストアやWEB等、園外でのチケット販売を促進するほか、QRコード搭載チケットを導入することにより券売所の混雑を緩和する。			・令和3年度に更新したQRコード読み取り可能な入口改札機及びキャッシュレス決済が可能な自動券売機について、適宜システム更新やメンテナンス等を行うことで、券売所窓口の混雑緩和に繋がった。比率は、直接入館(Webチケット+園外販売券)が44.3%、窓口販売(一般、団体、年間パスポート)が55.7%となった。 ・イルカ給餌体験のチケットをweb化し窓口混雑緩和と利用者の利便性向上に繋がった。	・月報、ヒアリングにより確認した。 ・HP,SNS(Facebook、YouTube)で生き物の様子を配信したことを確認した。 ・アプリの運用状況を確認した。	・業務計画書のとおり適切に実施されている。	・良好に実施できている。
関連機関連携						
1)地域と連携した広報・誘客促進 沖縄県・OCVB主催のPR事業への参加協力、北部市町村自治体・団体と連携した広報・誘客促進について検討する。各事業の誘客対象となる客層に合わせて、HPやSNSを活用した広報展開を実施する。	○		・やんばるチームどんどん協議会と連携し、東京都で開催された「めんそーれ沖縄展」に沖縄美ら海水族館パンフレットを設置しPRを行った。(期間:5/25～5/30) ・神戸三宮にて開催されたどさんこしまんちゅフェスティバルへOCVBと共同運営ブースを出展した。また、海洋や植物の専門家によるステージ講演を実施し、海洋博公園や沖縄美ら海水族館のPRを行った。(期間:7/22～7/23) ・東京新宿にて開催された「第20回新宿エイサー祭り」にOCVBと共同運営ブースを出展した。沖縄美ら海水族館をメインに沖縄観光を広くPRした。(期間:7/29～7/30) ・FC琉球が8/26のホームゲームにて「沖縄北部Day」として北部地域の方々に向けたイベントに併せて、移動水族館を派遣し、水族館へのPRを実施した。 ・ヴァンラーレ八戸及びOCVBと連携し、青森県内にて水族館等のPRを実施した。(期間:8/5～8/6) ・OCVBが主催する「沖縄MICEセミナー&商談会In大阪・東京」へ出展し、MICEでの水族館活用についてPRを行った。(期間:9/6、9/8) ・沖縄県が主催する「沖縄リゾートウェディングフェアin横浜」に出展し、美ら海ウェディングのPRを行った。(期間:9/9～9/10) ・大阪にて開催された「ツーリズムEXPOジャパン2023」へ出展し観光PRとともに沖縄美ら海水族館の深い魅力を理解してもらうため、研究事業と施設管理が相互フィードバック関係にあることをPRした。(期間:10/26～10/29) ・OCVBが実施する「沖縄MICEプロジェクト2023「MICE商談会・交流会」」に出展し、水族館MICEの魅力発信を行った。(期間:12/13(海外市場)、12/15(国内市場)) ・沖縄MICEネットワーク(事務局:OCVB)と連携し、名桜大学生向けに財団MICE取り組みについて出前講座を実施した。(期間:12/21) ・HPやSNSを活用し、やんばるチームどんどんの取り組みや本部町内で実施するゆうもどろランタン市、本部町桜フォトコンテストをPRした。	・月報、ヒアリングにより確認した。 ・HP,SNS(Facebook、YouTube)で生き物の様子を配信したことを確認した。 ・アプリの運用状況を確認した。	・業務計画書のとおり適切に実施されている。	・良好に実施できている。

2)北部の自治体や観光事業者と連携した「やんばるを楽しむ」プランの企画 北部自治体・旅行者・観光事業者と連携し、北部周遊旅行商品や本施設を含む周遊バスのルート策定及び、やんばるの自然・食・文化を楽しむプランの紹介等、やんばるを丸ごと楽しむ利用促進策の企画を行う。 また、公共交通機関や二次交通利用を促進し、沖縄県内北部周遊促進などの企画創出を行う。また、(一社)美ら島観光施設協会に加盟する沖縄県内観光施設との連携を継続し、相互利用を進める。	○		・本部町が実施する本部町内周遊バス事業に協力し、海洋博公園・沖縄美ら海水族館におけるポスター設置やHP掲載、やんばる旅なびでの告知を実施した。 ・JTB沖縄と連携し、ソフトインフラコンテンツ(宝探し×ガチャガチャ)を活用した本部半島周遊企画を実施した。	・月報、ヒアリングにより確認した。 ・HP,SNS(Facebook、YouTube)で生き物の様子を配信したことを確認した。 ・アプリの運用状況を確認した。	・業務計画書のとおり適切に実施されている。	・良好に実施できている。
3)沖縄北部観光の魅力のPR 沖縄県北部の自治体、観光事業者、旅行者等関連団体と連携を図り、沖縄県北部地域全体の魅力向上を図るコンテンツを創出し、北部地域の滞在時間増加を促す。	○		・夏季誘客施策としてJTB沖縄と連携し、JTB商品申込者で本部町内宿泊者のお客様を対象に、水族館スタッフによる「プチバックヤード見学」を実施した。 【参加者】27組102名（期間：8/1～8/31） ・夏季誘客施策として本部町内ホテルおよびJTB沖縄と連携し、本部町内宿泊者限定で対象ホテル連泊のお客様が、ホテルまたは「レストランイノ」で朝食を利用できる施策を実施した。 【件数】9件31名（期間：6/2～10/1） ・本部町観光協会および近隣ホテルと連携し、桜まつり期間における「本部町さくらフォトコンテスト」を実施し北部地域の魅力を発信した。 （期間：1/20～2/12）	・月報、ヒアリングにより確認した。 ・HP,SNS(Facebook、YouTube)で生き物の様子を配信したことを確認した。 ・アプリの運用状況を確認した。	・業務計画書のとおり適切に実施されている。	・良好に実施できている。

報道対応						
1)報道対応・撮影対応 担当窓口を設け申請者と調整を行い必要な手続きを行う。撮影時等においては担当者が立ち会い、利用者や撮影者等の安全確保を第一に対応する。	○		・マスコミ等による報道や取材対応の窓口として、内容や申請に必要な記載事項を確認し、適切に申請の手続きを行った。撮影時等には現場に立ち会い、利用者の動線確保や安全性を随時確認しながら対応した。 【NR取材件数】36件 【報道件数】89件 【ロケ取材件数(国内向け)】158件 【ロケ取材件数(海外向け)】14件	・月報、ヒアリングにより確認した。 ・HP,SNS(Facebook、YouTube)で生き物の様子を配信したことを確認した。 ・アプリの運用状況を確認した。	・業務計画書のとおり適切に実施されている。	・良好に実施できている。
2)広報素材の貸出 本施設のPRの一環として実施する資料貸出(静止画・動画等の広報素材の貸出及び使用)については、公平性並びに中立性の確保を前提として、当財団が記事等の内容について確認する。	○		・公平性並びに中立性の確保を確認しながら、適切に申請の手続きを行った。 【資料貸出件数】711件	・月報、ヒアリングにより確認した。 ・HP,SNS(Facebook、YouTube)で生き物の様子を配信したことを確認した。 ・アプリの運用状況を確認した。	・業務計画書のとおり適切に実施されている。	・良好に実施できている。
3) WEBにおける広告効果 国内のニュースサイト及びSNS等における、本施設に関する掲載記事の有無・掲載記事の効果測定を実施する。	○		・国内のニュースサイト及びSNS等における、本施設に関する掲載記事の情報収集を行った。 ・Meltwater社のオンライン分析ツールを導入し、運用に向けたレクチャーを受け、今後の情報発信の際の効果測定に向けて準備を行った。 ・沖縄美ら海水族館に関する年間のWEBニュース等の露出状況を分析・とりまとめを行った。	・月報、ヒアリングにより確認した。 ・HP,SNS(Facebook、YouTube)で生き物の様子を配信したことを確認した。 ・アプリの運用状況を確認した。	・業務計画書のとおり適切に実施されている。	・良好に実施できている。